

令和6年度 第2回北海道立釧路芸術館運営協議会議事録

日 時 令和7年2月6日(木) 午後2時00分～午後4時00分
場 所 北海道立釧路芸術館 アートホール

○出席委員 11名

○館出席者 7名

○釧路芸術館共同事業体運営委員会 運営委員 2名

【議 事】(1) 令和6年度事業報告

- ア 展覧会事業
- イ 芸術・教育普及事業
- ウ 作品収集状況
- エ 令和6年度の新たな取組状況

(2) 令和7年度事業計画

- ア 展覧会概要及びスケジュール
- イ 芸術・教育普及事業
- ウ 令和7年度の新たな取組

(3) その他

1. 開 会

館長より、令和6年度第2回北海道立釧路芸術館運営協議会の開催する旨の挨拶。

2. 挨拶

運営委員長代理が、昨年4月から開催していた「岩合光昭の日本ねこ歩き展」が約10年ぶりに観覧者7千人を超えたこと、7月からの「鴨居玲展」では観覧者の釧路市錦町駐車場料金が2時間無料となったことを述べ、本日も忌憚なきご意見を伺い、館の運営に反映させていきたい旨を述べた。

3. 委員及び館職員の紹介と協議会成立について

館長が、令和6年度第2回北海道立釧路芸術館運営協議会の開催にあたり、終了時刻は午後4時前を目途としたい旨を表明、次に委員数14名中過半数の11名が出席となり、運営協議会規則第7条2項により本協議会が成立する旨を宣言した。

4. 議 事

(1) 令和6年度 事業報告

館長より、展覧会事業の観覧者数や観覧料収入、事業費支出状況について報告。

続いて学芸主幹が令和6年度の各展覧会について報告を行った。

関連事業については、「岩合光昭の日本ねこ歩き展」の会期中に、猫の写真を募集してロビーに展示する「みんなのねこあるき写真展」を実施したことや、「鴨居玲展」プレミアムトークと題して日動美術館の館長・副館長をされている長谷川ご夫妻を講師に招いてお話を伺ったことなどを説明した。

その後、館長が教育普及事業や新たな取り組み状況、学芸主幹が作品収集状況について報告した。

委員

自主企画である「自然へのまなざし展」や「下沢敏也展」について、担当学芸員さんには実際に開催した上で、どんな発見があって、どんなことをお客さんに伝えることができたということ、展覧会資料の「成果と今後の課題」に書いて頂きたかったです。

もう一点は、展覧会によってはその「成果と今後の課題」の欄に成果だけ書かれているものがいくつかありまして、一生懸命取り組みば取り組むほど、課題がどんどん見つかってくるということもありますので、両方記して頂きたいと感じました。

学芸主幹

ご意見ありがとうございました。

具体的な記述が漏れていた展覧会がございましたので、改めて振り返ってみますと、当館のコレクションの柱の一つである「自然と芸術」ですが、自然という言葉の包含性は大変大きく、あらゆるものが言ってみれば自然という中に取り込まれてしまいます。

その中でも今回は「天と地」というテーマを設けて「天」をイメージする作品と「地」をイメージする作品を選び、解説もかなり力を入れて詳しく書いて掲示しましたので、ご覧になった方は大変満足されていたと思います。

一方で、もう少し力強い広報が出来ればよかったと反省しております。見て頂くまでの部分で、ヴィジュアルやキャッチコピーの面で惹きつけるものが足りなかったのではないかと、これから具体的に検証していきたいと考えております。

「下沢敏也展」については、陶芸という当館ではこれまであまり展示されてこなかったジャンルをご紹介する機会となりました。下沢さんの作品は新しい部分と古典的な部分を対峙させるような展示であったのですが、予想よりも茶碗や茶器という古典的な部分に関心を持たれた方が多くいらっしゃいました。また、「陶」という概

念を超える新しい手法で作られ、天井から吊るして展示されたインスタレーションについては、皆さん驚きを以ってご覧になっていた印象があります。また、比較的若い方の観覧も多かったということです。今後こういった現代アートの展開について探っていくきっかけになったのではと感じております。

委員

私は小学校の校長をさせて頂いております。教育利用のお話しが出ていましたが、今回12月の「ももちゃん芸術祭」開会式に出席し、その際に展覧会を拝見しましたが、素晴らしいなと思いました。子どもたちにとって「アートを楽しむヒント」が見つけやすく構成されていて、図画工作の鑑賞の授業にぴったりだなと思いました。学校に戻ってから教員に話をし、冬休み中に一度「ももちゃん芸術祭」を学芸員の方に案内されながら鑑賞してもらいました。その後改めて2月27日に5年生の児童50名ほどを連れて鑑賞する予定です。1月の釧路市小中学校校長会でもこのことを周知しまして、良い機会なので是非教育利用をとお話しさせて頂きました。鑑賞授業の成果についてはまたご報告いたします。

館長

先程のご報告でもなかなか学校の利用が増えないと申しあげましたが、S小学校さんは校長先生が運営協議会委員でありますし、釧路造形教育展で受賞された児童の方もいらっしゃいますので、事情をお話しして開会式に参加していただきました。

私は昼休みに館の周辺を巡回するのですが、夏場は近隣の駐車場に大型バスが駐車していることがあります。中には小学校の社会科見学で、こども遊学館や警察署、消防署などに行きますというケースもままあります。それでしたら少し時間を割いて頂いてぜひ当館にも、とお伝えするのですが、なかなか学校のカリキュラムで決まっていることなので、難しい面があるとお話をお聞きします。

そうした中、今回来館されるS小学校さんは、開会式出席のご縁をきっかけに鑑賞後学校に戻られて、予定を組み立てて来館して頂くことになりました。校長会の方でもこうした情報を共有いただけるとのお話しですので、今後も学校利用の促進に向けて有益な鑑賞機会を提供していきたいと考えております。

委員

「下沢敏也展」は私も素晴らしかったと感じております。
下沢さんは北海道文化団体協議会の会長でもありまして、親しく

1. 誘客の促進

積極的なPRの展開、多彩な関連イベントの実施など

2. 地域連携の拡充

地域イベント連携：芸術館夏まつり、秋まつりの開催(継続)

釧路市連携：釧路市立博物館、釧路市水産課(展覧会協力)

3. 優待割引料金の活用

100円割引料金(拡充)、SNSフォロー割引など

※新規：全国教職員互助団体協議会会員ほか

4. より魅力ある教育普及事業の展開

プレミアムトーク(作家や関係者による講演)、学芸員による美術講座

5. 学芸員による調査研究成果の展開

展覧会(コレクション展)及び作品収集活動への反映

6. 音声ガイドアプリの活用

ポケット学芸員(拡充)

7. ロビー展示の拡充

道産子追憶之巻(継続)、米坂ヒデノリ「オーケストラ」の一部(1月～)

8. 施設維持管理

課題：空冷式チラーの更新

会長 令和7年度の事業計画をご説明いただきましたが、ご質問・ご意見等ありましたら、お願いいたします。

委員 館長を始め、職員やボランティアスタッフの皆様が非常に誘客・集客に努力されていると感じます。我々メディアとしましても、館とご相談しながら誘客につながるような広報をしていきたいと考えております。

委員 インバウンドも含めて観光で来られている方を呼び込むのが重要ではと考えています。

それから、外国人の若いインテリ層が学びの目的で釧路・根室地方に結構来ておりまして、そういった方々にも上手くアピールでき

れば、来館につながり、満足いただけると思います。

そうして外国の方の来館が増えていきますと、地元の方も行ってみようかとなりますので、PRに協力していきたいと考えております。

委員

根室管内のお話をしますと、以前からこの時期は風連湖などでバードウォッチングをする外国人がおりまして、地元の私たちが知りえなかった魅力があるということで、逆に海外の方から教えて頂くことがあります。

前のシーズンは駐日大使夫妻がお忍びでいらっしゃいまして、すごく鳥が好きというお話しでしたが、それ以外にも風土・歴史・文化にとっても詳しくて、我々以上に良くご存知でした。ですから、私も海外の方を呼び込むのは大事だと思います。

来年度は美術館で「さかなクン展」が予定されていますが、芸術と産業をどうリンクさせるかというのは難しいですけど、水産は地域の基幹産業として身近なものですし、ちょうど会期は夏から秋までと食のイベントが多い時期ですので、上手く結び付けられれば相乗効果で成功するのではないかと思います。

私も根室に帰りましたら、水産関係者に情報提供しますので、お互い色々な面でwin-winになればと考えております。

委員

北海道教育委員会が作成している道立美術館のポータルサイトについてですが、そちらの地図には釧路美術館だけが記載されていないのはどうしてなのかご存知の方がおられましたら事情を伺いたいです。そして、是非入れていただきたいと思います。

委員

道立美術館ポータルサイトが出来たのが、おそらく2021年だったと思います。あの当時どこの道立美術館のホームページもなかなか古くてリニューアルしようという計画がありましたが、実は釧路美術館はそれよりも前に独自に行っていました、非常に見やすい作りになっていたのを参考にさせて頂いた記憶があります。

今申したのは順番のお話でありまして、ポータルサイトの地図に記載されていないのは私もどうしてかと思っているのですが、おそらく指定管理館なので、直営の館とは区別されているということではないでしょうか。

会長

ありがとうございます。道立美術館と道立芸術館では名称が違うというのはあると思いますが、ユーザーの視点から見ますと、道立

の美術館施設ということをご皆さんに知って頂けるのが望ましいと思いますので、今後道教委と折衝をお願い致します。

委員

空冷式チラー更新の件ですが、一番新しい釧路芸術館でも開館から26年経過ということで、どこの道立館も設備が老朽化していて更新が進まない状況ですが、粘り強く要求していくしかないと思っています。

それから、写真や映像を子どもが体験的に学べるイベントを展開していくというお話がありましたが、お客さんに身近に感じて頂くために大切な事業ではないかと思えます。

一つ気になったのが、「さかなクンのギョ苦楽展」と、同時開催の「ももちゃんと見つけ！北のおさかな界限」について、7月から10月のとても大事な時期の展覧会ですが、絵画や造形物を展示するとはいえ、作者がアートをメインに活動されている方ではないので、その間釧路芸術館のアートはどこに行ってしまうんだという感想を抱いてしまいます。各館はそれぞれの収集方針でもって優れたコレクションを有していますので、可能であれば「北のおさかな界限」で、芸術館のコレクションを交えて紹介するといった工夫をして頂きたいです。

委員

3年ほど前から（釧路商工会議所）女性会で芸術館前の遊歩道沿いに植栽をさせて頂いてまして、花壇の手入れに来るのですが、日曜日は隣の釧路市観光国際交流センターの方からの人通りが結構あります。館長が先程お話しされましたが、昨年に案内板を設置してくださいまして、すごく良かったと思います。あまり新聞を読まない層や地域のイベントに興味を持たない人たちがたくさんいる中で、少し手前の地点で、今何の展覧会をしているかが一目でわかるようになりました。

そこでなのですが、芸術館の入口がわからないという方がいまして、案内したことがあります。入口まで誘導する表示があればより良いなというのと、特に女性は友人と休憩してお話できる場所があるということが来館につながると思えますので、カフェが営業しているという表示をして頂きたいです。

もう一点、資料1に「自然へのまなざし展」の事業費支出状況が載っていて、計画額が340万円、それに対して実績額が44万7千円とすごい落差があるのですが、この理由を教えてください。

それから、前にも申しましたが、各展覧会の事業計画および実施状況の資料で、収支状況の欄に経費だけの計画額と決算額が記され

ていまして、一つの展覧会のトータルで収入がいくらで経費がいくらでというのを書いて頂けた方がわかりやすいと思いました。

館長

「自然へのまなざし展」の支出状況について、12月末の時点ではこの数字ですが、金額が大きい未支出の費用がありますので、そちらがまだカウントされていない状態となっております。

それから、収支状況をきちんと明らかにすべきというご指摘を以前に受けまして、ご欠席されていましたが今年度第1回の運営協議会で前年度のトータルの収支状況を出させて頂いております。ご指摘の資料は途中経過の記載ですので、今年度の完全版の収支状況は次回の運営協議会でお示しします。

やはりマスコミさんの報道があると、それがすごく入館者に結びつくわけですから、是非今後とも取り上げて頂ければ幸いです。

それから、インバウンドについてです。先日の大雪の時に当館は開館することにしまして、さすがに今日は来館頂くのは厳しいだろうと想定していたところ、一桁の人数ではありますが、その日の来館者は全員インバウンドの方でした。お声がけしますと、釧路周辺をめぐる予定が、交通機関がストップしてしまったので、付近のホテルから芸術館に足を運ばれたようです。そういった面でも、インバウンドの方へのアピールは強化していきたいです。

委員

釧路芸術館の来館者の年代ですが、50代・60代が多くて、30代以下が少ないと思われます。その年代は活字をあまり読みませんので、SNSで呼びかけるのが効果的だと考えます。

「ももちゃんを見つけ！北のおさかな界限」の会期中ですが、若い方は「界限」という言葉に敏感ですので、インスタ映えするスポットの提案をいたしますと、例えば前庭に球体の彫刻がありますが、その前で横になった姿を撮影すると、お腹の上に球体に乗っているように見えるとか、手のひらで球体を支えているように見えるだとかです。あと、2階のテラスのところに大きな翼を付けてみて、その前で写真を撮ると、空を飛んでいるように見えるというのもアイデアとして浮かびました。

それから、せっかくカフェがありますので、「ももちゃんパフェ」や「ももちゃんラテ」を提供してみて、面白いと思って頂けると良いのではと。

さらに言いますと、ヴァレンタインデーのある2月に、チョコレートで何かを作ろうだとか、チョコレートの色で絵を描こうだとか、そんなイベントがあってもいいのではと思いました。

私は芸術館が大好きなんです。娘は20数年前に芸術館で成人式の撮影をさせて頂いたこともあります。そこで、例えば成人式や同窓会の際の記念撮影を呼び込んでみるのも面白いのかなと思いました。

会長

バズるための様々な作戦をご提案頂きました。

さて、他にご意見やご質問はありますか。出尽くしたようですので、事務局から議事「その他」について、ご説明願います。

(3) その他

館長

本協議会の議事録につきましては、会長にも内容の確認をして頂き、委員の方々のお名前を伏せた形でホームページにて公開いたしますので、ご了承頂きたいと思っております。

また、次回の運営協議会は令和7年8月上旬に予定しております。以上でございます。

会長

本日の議題は全て終了しましたので、事務局に進行をお戻しいたします。

館長

会長、円滑な議事進行、誠にありがとうございました。

最後に、運営委員長代理より、皆様へのお礼のご挨拶があります。

運営委員長代理

本日は長時間に渡りまして、貴重なご意見をありがとうございました。

地域との連携に関しましては、強化されているなど我々も感じているところでございます。一方でお話にありましたインバウンドへの対応につきましては、次回か次々回の運営協議会で詳細をご説明する予定ですが、弊社が北海道で運営しているとある施設での、インバウンド向けにAIを使った案内ですとか、海外のIT企業と連携した情報発信ですとか、そういった先進的な取り組みも行っていこうとしております。

改めまして、本日は誠にありがとうございました。

これをもって、令和6年度第2回北海道立釧路芸術館運営協議会は閉会となった。